

令和6年能登半島地震 外国人被災者への支援を通して 見えてきた課題と展望

(NPO法人) 多文化協働ネットワーク
理事・事務局長 阿部 一郎

令和6年能登半島地震の被害概要

死者 299人（7月末現在）

全壊した家屋 8,001棟

地震発生回数 1,880回

（震度1以上、6月末現在）

石川県で暮らす外国人市民の人数（2023年末現在）

18,826人

内、技能実習・特定技能 7,312人（全体の39%）

珠洲市で暮らす外国人市民の人数

87人

内、技能実習・特定技能 59人（全体の68%）

能登町で暮らす外国人市民の人数

159人

内、技能実習・特定技能 114人（全体の72%）

活動概要

きっかけ: 発災直後から、珠洲市をはじめとする奥能登地域で暮らすインドネシア人技能実習生と本NPOのインドネシア人理事が連絡を取り合い、食料などの生活物資に困窮していることが分かり、支援活動が始める。

対象者: 奥能登地域の漁業に従事する技能実習・特定技能の外国人被災者

資金調達: 外国人被災者に対する寄付を募る、日本財団の助成金を申請

情報の共有: インスタグラム

具体的な活動内容

- (1) 当該被災者のニーズに合わせた生活支援物資の提供
- (2) 当該被災者からの相談受付
- (3) 報告会の開催

事業（1）生活支援物資などの提供

事業（2）生活相談

実習生からのアンケート調査結果 ①バスツアーの感想

	とても良かった	良かった
11日	14	2
12日	23	5

理由

- リフレッシュできる旅行になった
- 日本に来てから初めてモスクに行けた
- とても楽しかった
- 子供服が買えた
- 友情が深まった
- 新たな体験ができた
- 希望が見えた

実習生からのアンケート調査結果 ②現在困っていること

	生活支援物資が足りない	仕事に不安がある	日本語学習が進まない	将来のことが心配	その他
11日	1	1	7	3	1
12日	1	3	2	9	1

- 生活用水はきたけど、飲料水としては使えない
 - いくつかの施設ではあまり意味のないことが見受けられた。
- 結婚後の仕事
 - 日本での機械操作のやり方
 - 安全性と健康
- 日本語の先生がいない
 - 学ぶ場がない
 - 勉強するとなると面倒くさい
 - すぐに携帯をさわってしまう
 - 理解が難しい言葉が多い
 - 時間がない
- また地震がくるかも
 - 安心して仕事が続けられるかどうか
 - 帰国後の仕事がない
 - まだ起業できていない
 - ずっと家族がいい状態でいられるか
 - 状況がよくなるかい
 - 経験が生かせるのかどうか
 - 両親を幸せにできていない
- 帰国後に仕事があるかどうか

事業（3）報告会



能登半島地震における 外国人被災者支援活動報告会

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、特に奥能登地域に大きな被害をもたらしました。金沢に拠点を置く（NPO法人）多文化協働ネットワークでは、発生当初から珠洲市などの被災地に入り、被災された外国人技能実習生を支援してきました。

報告会では、その詳細をお伝えするとともに、今後の支援のあり方について、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

日時

2024年
6月22日 土 14:00-15:30

ITビジネスプラザ武蔵4階 研修室2 金沢市武蔵町14-31

第1部

14:00～15:00

「外国人被災者支援活動の取り組み」

スピーカー：NPO法人多文化協働ネットワークメンバー

第2部

15:00～15:30

「外国人被災者からのお話」

スピーカー：インドネシア人漁業実習生（珠洲市蛸島在住）

お申込み
お問い合わせ

報告会にご参加希望の方は、「お名前」、「連絡先」を明記の上、
メールにてお申し込みください（E-mail：tabunkabito@gmail.com）

主催：NPO法人多文化協働ネットワーク 協力団体：金沢大学Non Borders

課題と展望

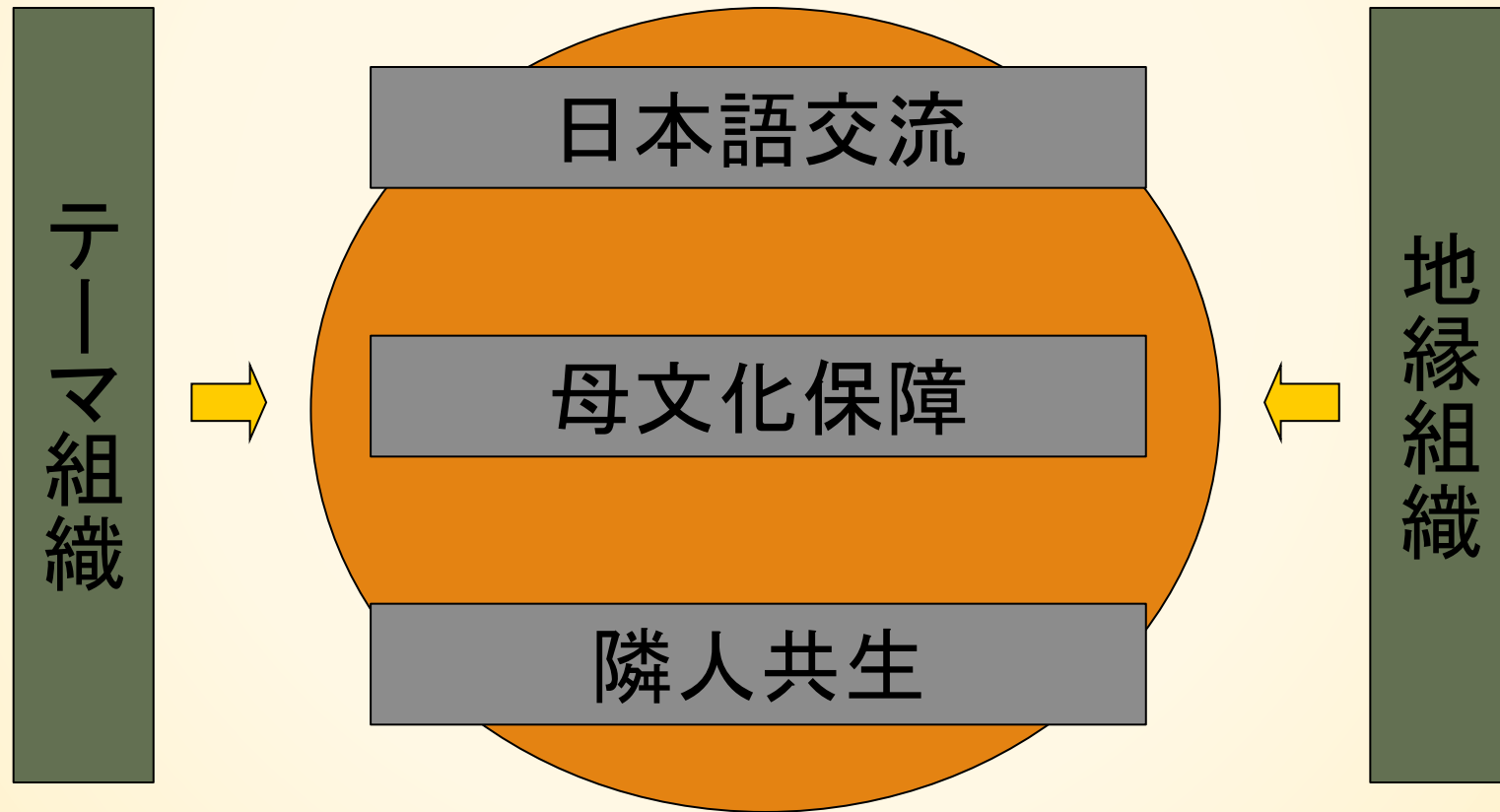
①技能実習・特定技能の在留資格を持つ外国人市民との関係性の構築

②エスニックコミュニティのネットワーク の活用

③地域コミュニティにおける多様な主体 による連携・協働の仕組みづくり

**地域コミュニティにおいて
外国人市民と日本人市民の
互助関係の構築こそ
多文化共生社会に向けての最大の課題**

多文化共生の地域をめざして…



地域共生社会のためのプラットフォーム Platform

市域を越えたネットワークの構築
情報やノウハウの共有
中間支援機能のリノベーション

キーワードは、……

「越境」と「協働」



持 続 可 能 性

(Sustainability)



It's now or never.



**It is the very last chance
to do something.**

やるなら今、今しかない。